

## 臨床研究「心室伝導障害と心機能および心臓同期性の関連」について

筑波大学附属病院循環器内科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究に関する問い合わせ、または研究への参加を希望しない場合は、担当者までご連絡をお願いいたします。

本研究の概要は以下のとおりです。

### ① 研究の意義・目的・方法

心不全の領域において、右心機能の重要性が広く知られるようになってきました。後天性の右脚ブロックは肺高血圧や右心不全としばしば関連しており、それが死亡率の増加につながるのではないかと推測されています。しかし、右脚ブロックと予後との関連については、背景にあるメカニズムや、右脚ブロックが心機能や非同期に与える影響については、まだ十分なデータはありません。そこで、右室の形態や機能に関する詳細な評価が必要であると考えます。

本研究は右心機能評価が重要と思われる、先天性心疾患、肺高血圧、心筋症や弁膜症の患者さまにおいて、右脚ブロックを含む心室伝導障害が心容積や心機能、心臓同期性に及ぼす影響を調査することを目的としています。

それらを明かにすることにより、患者さまの適切な治療方法の選択に貢献できる可能性が考えられます

### ② 研究対象

2010年1月1日から2021年3月31日まで当院で経胸壁心エコー図検査、心臓MRI検査を受けられた患者さま

### ③ 研究期間

倫理審査委員会承認後～2021年3月31日

### ④ 資料・情報の項目

検査データ(心電図、経胸壁心エコー図検査、心臓MRI、胸部レントゲン検査、血液検査)

診療録

### ⑤ 資料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学附属病院 検査部 講師 石津智子

⑥研究機関名・研究者名

筑波大学附属病院 検査部（川上康，石津智子，中澤直美）

⑦保有する個人情報に関する利用目的

この研究は、筑波大学附属病院において経胸壁心エコー図検査を施行された患者さんを対象に、診療及び検査記録を用いて上記の課題について調査するものです。本研究の結果は学術目的のために学会や論文で公表されることがありますが、その場合も個人情報の秘密は厳重に守られ、第三者には個人の特定ができないように配慮されます。

⑧保有する個人情報の開示手続

あなたのデータが本研究に用いられているかどうかを知りたい場合や、用いられている場合において、あなたがデータ使用の取り止めに希望される場合には、いつでも下記[問い合わせ窓口]までご連絡ください。取り止めの希望を受けた場合、それ以降、あなたのデータを本研究に用いることはありません。しかしながら、同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。研究終了後10年間保管の後にデータは廃棄されます。

⑨問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院

〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：筑波大学附属病院 検査部（講師 石津智子，クリニカルアシスタント 中澤直美）

電話：029-853-3143（対応可能時間 9～17時）

FAX：029-853-3227（対応可能時間 9～17時）